

アンコンシャス・バイアス に関する研修

～男性の育休取得を「当たり前」にするために、
職場はどう行動できるか～



講師:

東京情報大学看護学部
助教

古山 陽一

*Diversity is a fact;
inclusion is an act.*

2026

10/26 月

13:30-15:00

開催方法

Zoomウェビナー

対象

本学構成員(教職員・学生)

使用言語

日本語

講師紹介

1979年、福岡県生まれ。大阪市立大学大学院修士課程(都市共生社会研究分野)を経て、2016年から看護系大学の専任教員となる。家庭では、2児の子育て真っ最中。子どもの出生時には「育休」も取得した。2012年から父親の育休取得を支援するNPOを主宰し、各地にて講演やワークショップ等を行っている。第4回澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞受賞。看護学の探究を通じ、性別にとらわれず生きることが出来る社会への実践を目指して、日々奮闘中。現在、千葉県在住。

研修概要

大阪大学マスタープラン2027では、「InclusiveでWell-beingなキャンパス環境創出の促進」を重点戦略とし、「構成員の子育て支援の強化ならびに心身の健康づくり施策の推進」が主要取組に位置づけられています。そうした中、「男性教職員の育児休業等取得率(約100%)」がKPIとして掲げられていることを、ご存知でしょうか。男性の育休取得を「当たり前」にするために、私たちの職場はどう行動できるか——本研修では、性別役割に対するアンコンシャス・バイアスを可視化させることで、Act(行動)に結び付けるための具体的方策について考えてみたいと思います。

詳細・申込はこちら

D&Iセンターウェブサイト

研修お知らせページ



研修内容、参加方法等に関するご案内は、ウェブサイトをご確認ください。

主催



大阪大学
ダイバーシティ&インクルージョンセンター
Center for Diversity & Inclusion